



## 関西国際空港にビジネスジェット専用施設を整備！

～スムーズな出入国手続きとプライバシー性の高いサービスをご提供します～

関西エアポート株式会社は、第2ターミナルビル（国内線）の一部に、ビジネスジェット専用施設「Premium Gate 玉響」がオープンすることをお知らせいたします。

当施設には、こちらをご利用の方専用の保安検査場やCIQ（税関・出入国管理・検疫）施設のほか、専用の乗降場所・駐車場や会議室、受付カウンター、待合ラウンジなどを備えております。現在、ビジネスジェットをご利用のお客様には、第1ターミナルビルの一般出入国動線を使用いただいておりますが、この専用施設の完成後は、よりスムーズな出入国手続きと、プライバシー性の高いサービスのご提供が可能となります。

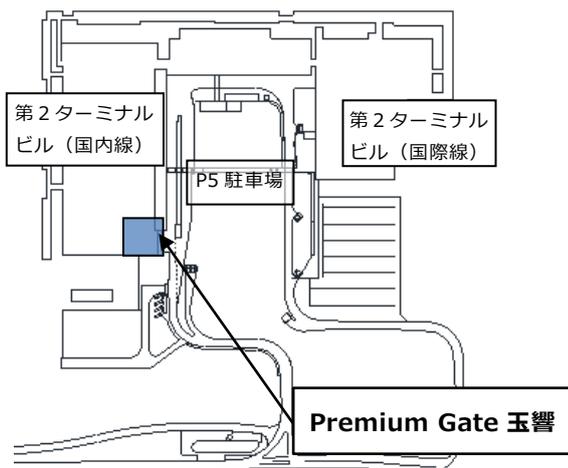
ビジネスジェットは現在、欧米諸国での利用が中心ですが、グローバル化が加速する中、今後、アジアでのビジネスジェットの利用も増加すると考えています。

2019年のG20大阪開催やラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックなど、今後ビジネスジェットの需要増加が想定される国際的なイベントが控えていることを受け、このたび専用施設の整備をいたしました。

関西エアポート株式会社は、引き続き、お客様が自然体で充実した空港での時間を過ごせるよう、安全・安心な環境づくりを進め、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

### ○概要

施設名称	: Premium Gate 玉響
名称コンセプト	: 時間を大切にされるお客様に少しでもこの空間で有意義に、またほんのひとときであっても、玉（宝物）のように素晴らしい時間を過ごしていただきたいという気持ちを含めて名づけます。
設備概要	: 保安検査場、CIQ（税関・出入国管理・検疫）施設、専用の乗降場所・駐車場、受付カウンター、待合ラウンジ、会議室
設備用途	: ビジネスジェット旅客取り扱い施設（国際線、国内線両用）
設備規模	: 約 300 m <sup>2</sup>
運用時間	: 24 時間
供用開始日	: 2018 年 6 月上旬（予定）
運営会社	: 関西エアポートグループ
場 所	: 第2ターミナルビル（国内線）内（下図参照）



エントランス（イメージ）



待合ラウンジ（イメージ）

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
コーポレートコミュニケーション部  
Tel : 072-455-2201

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：[www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/)をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、 管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界40カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構